

2014 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	中村昇		
NAME	Nakamura Noboru		

1. 研究課題

(和文) 西田幾多郎とベルクソンの時間論の比較

(英文) Comparative study on Time theory of Nishida Kitaro and Henri Bergson

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文) 西田幾多郎の時間論は、『無の自覚的限定』において展開されている。「永遠の今」という概念こそが時間の本質であり、時間は流れていないと考えていく。それに対して、ベルクソンの時間概念は、「純粹持続」であり、時間は、有機的に流れていくものと考えられている。この二つを、統一して、時間が本質的にどのようなものか打であるかを解明したいというのが、本研究の目的であった。単著『ベルクソン＝時間と空間の哲学』(2014年刊行、講談社)において、ベルクソンの「純粹持続」の背後には、「空間」が存在し、その空間を記憶が支えているという議論をした。その空間は、西田幾多郎のいう「絶対無の場所」と同じようなものではないかと考え、論文「西田幾多郎の時間論(1)」では、西田の「永遠の今」と「絶対無の場所」の関係を論じた。ベルクソンのなかに密輸入されている「空間」と、西田の「永遠の今」が、「記憶」という鍵概念を軸に密接に関係しているのではないかという予想のもとに、西田幾多郎にかんする著書を現在執筆中である。

(英文) The time theory of Nishida Kitaro is based on the concept of "eternal now". It means "time does not flow". But Bergson's concept of time is "pure duration", it means "time flows organically". I wanted to explain this contradiction of two concepts. The background of "pure duration"(Bergson) is Space. And "eternal now"(Nishida) is equal to "Space of Absolute Nothing". Now I am writing on the relation between "Space"(the background of pure duration) and "eternal now". This book will be published this autumn.

【注意事項】①記入された業績は、学事部企画課で研究者情報データベースに代理登録をします (大学公式ホームページの公開データとなります)

②業績データが多い場合や代理登録時に必要なデータが不足する場合は、学事部企画課より問い合わせをさせていただきます。

3. 研究成果について (研究期間終了後 2 年以内・予定のものを含めて記入) ※記入欄が不足する場合は、適宜追加ください。

論文	発行年(西暦)・月	2015	年	2	月	論文標題	西田幾多郎の時間論(1)			
	執筆者	中村昇				掲載誌名称	紀要 (哲学)			
	巻・号・頁	257[57]pp.211-231				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他			
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他 (随筆等)				種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無	

論文	発行年(西暦)・月		年		月	論文標題				
	執筆者					掲載誌名称				
	巻・号・頁					種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他			
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他 (随筆等)				種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無	

論文	発行年(西暦)・月		年		月	論文標題				
	執筆者					掲載誌名称				
	巻・号・頁					種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他			
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他 (随筆等)				種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無	

著書	発行年(西暦)・月	2016	年	9	月	著書題目	西田幾多郎の「永遠の今」(仮題)			
	出版社	講談社				区分	著書、訳書、その他			
	種類	著書、編集、編著書、共著、共編著、翻訳、その他				担当頁数	～			
	著者名	中村昇				共著者等氏名				

著書	発行年(西暦)・月		年		月	著書題目				
	出版社					区分	著書、訳書、その他			
	種類	著書、編集、編著書、共著、共編著、翻訳、その他				担当頁数	～			
	著者名					共著者等氏名				

口頭発表	発表年(西暦)・月		年		月	会議名等				
	種類	口頭発表、ポスター、学術講演、一般講演、対談・鼎談、学会・研究会報告、その他								
	発表題目									